

主な活動の紹介

○「豊田中学校区ふるさと協育ネット」の発足式に向けた準備

- ・ふるさと協育ネット事業について、自治会や婦人会、老人クラブ等の各種団体の長を対象に勉強会を実施しました。
- ・学校支援ボランティアへの登録依頼

○「豊田町文化産業まつり」への参加

- ・自己資金の捻出と協育ネットの活動を広く周知することを目的に、ジュニアリーダー活動を通じて生徒ボランティアを呼びかけ、会場準備と後片付け、二日間のイベント出店におけるマイブースでの販売・接客を、生徒とコーディネーターを中心に協力して実施しました。
- ・豊田下りんご生産組合の協賛で「りんごの皮むき大会」の企画・運営を行い、町内外から多くの参加者がありました。
- ・豊田下地区ふるさと協育ネットコーディネーターも参加し、イベントの準備、運営等を実施することができたことは、今後の中学校区における協力体制の第一歩だと思います。



文化産業まつりの様子

○中学3年生の面接指導にゲストティーチャー

- ・協育ネットの人材バンクから、元企業の人事育成担当の方をゲストティーチャーに迎え、面接についてのノウハウを伝授。形からだけではなく、夢や目標をもつなど内面の大切さに気付く機会となりました。



ゲストティーチャーを迎えて

成果と課題

2つの中学校の統合をきっかけに、それまで町内で地域ごとに行われていた学校教育支援のネットワーク（組織）が、中学校区で一つにまとまりつつあります。地域全体の応援団（豊田中学校区）としてまとまる道筋ができたことは大きな成果です。「豊田中学校区ふるさと協育ネット」が発足したことで、地域住民への周知もより進んだのではないかと思います。

また、豊田中学校と同じ地区にある西市小学校区では、当初平成25年度からの「ふるさと協育ネット」スタートを検討していましたが、現在、実施されている西市放課後子ども教室とあわせ、「豊田中学校区ふるさと協育ネット」と連携した学校支援を、今後進めていきたいと考えています。

今後の取組

平成25年度から、「豊田中学校区ふるさと協育ネット」は、地域や保護者の協力を得ながら、豊田中学校を中心に本格的に学校支援活動を行っていきます。また、平成26年度以降は、「豊田中学校区」として、豊田地域すべての学校を支援する協育ネット体制を構築し、小・中学校を通して子どもたちの育ちや学びを地域ぐるみで支援する取組を行っていくことを目標とし、今後も継続した事業の促進に努めていきたいと考えています。

